

中部電力での生成AI活用 ～生成AIを用いた研究開発事例の紹介～

01 技術開発の背景・目的

- 生成AI技術の急速な発展・普及により、これまでの仕事のやり方が一変しています。
- 将来的な人手不足を背景に、**急速な業務のDX化**が求められています。
- 中部電力では**生成AIを早期に導入**、様々な活用方法を検討しています。

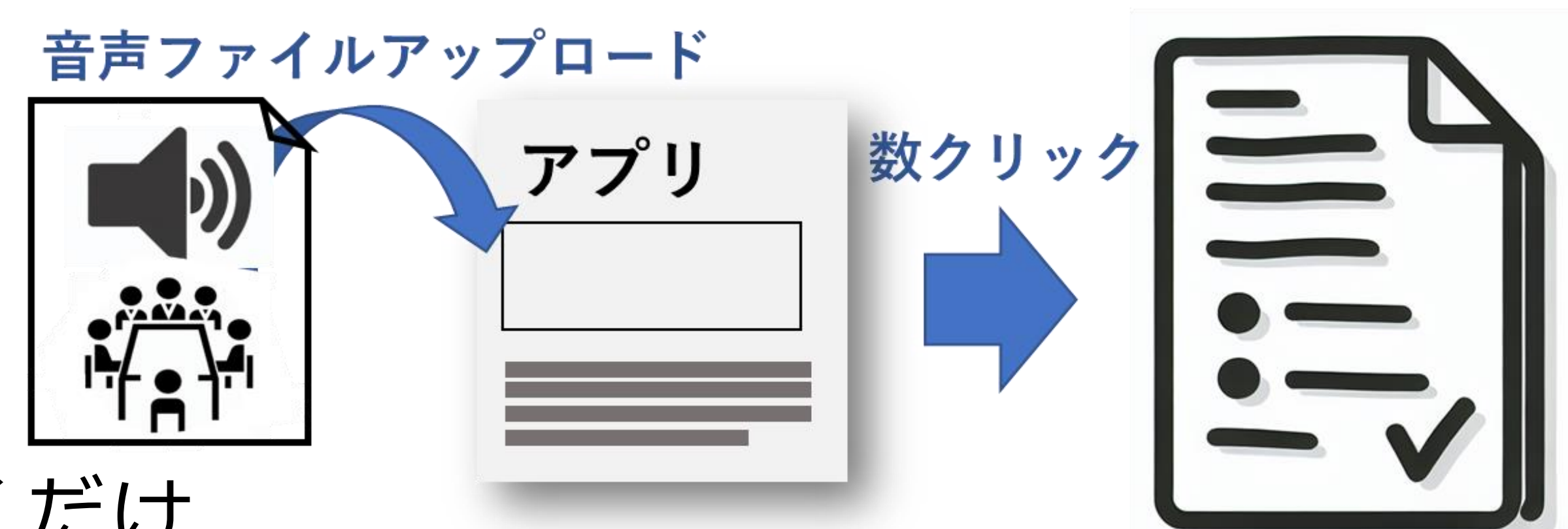
02 代表活用技術例：議事録AIアプリ

会議音声から簡単操作で議事録作成

- **会議音声データ**から**数クリック操作**で**議事録**が作成出来るアプリを内製開発 **2025/4～全社導入**

ポイント

- 会議では**議事録係は不要**、会議を録画or録音しておくだけ
- 最新の生成AIで**高精度な**文字起こしや議事録が作成可能
- 最速約**1～2分***放っておけば**議事録完成**！様式も指定可能



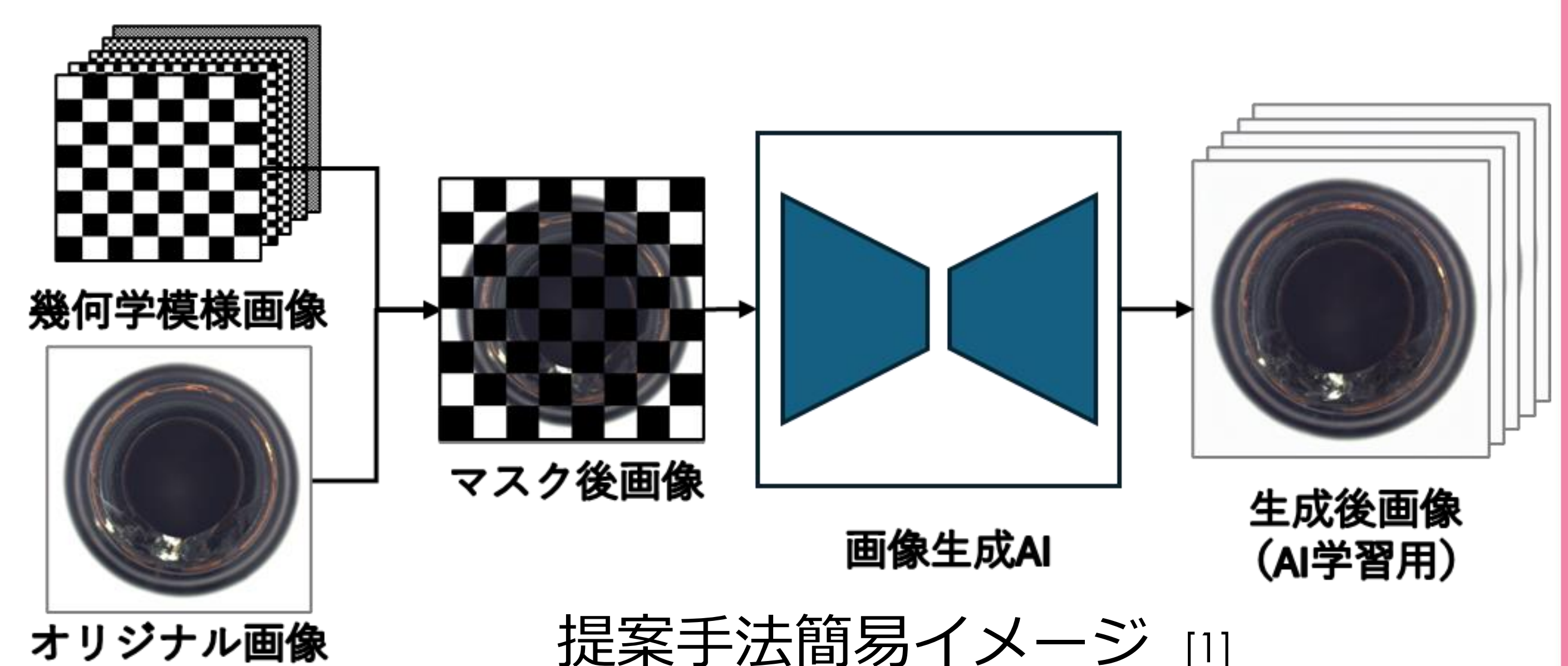
※1時間の会議音声の場合

03 代表活用研究例：少量画像データの生成技術

- AIの学習に必要な蓄積**データが不足**し**AIが開発困難な事例**も散見
- 画像生成AIを用いて少量の**データ**からAI学習用のデータを増やす技術を研究

ポイント

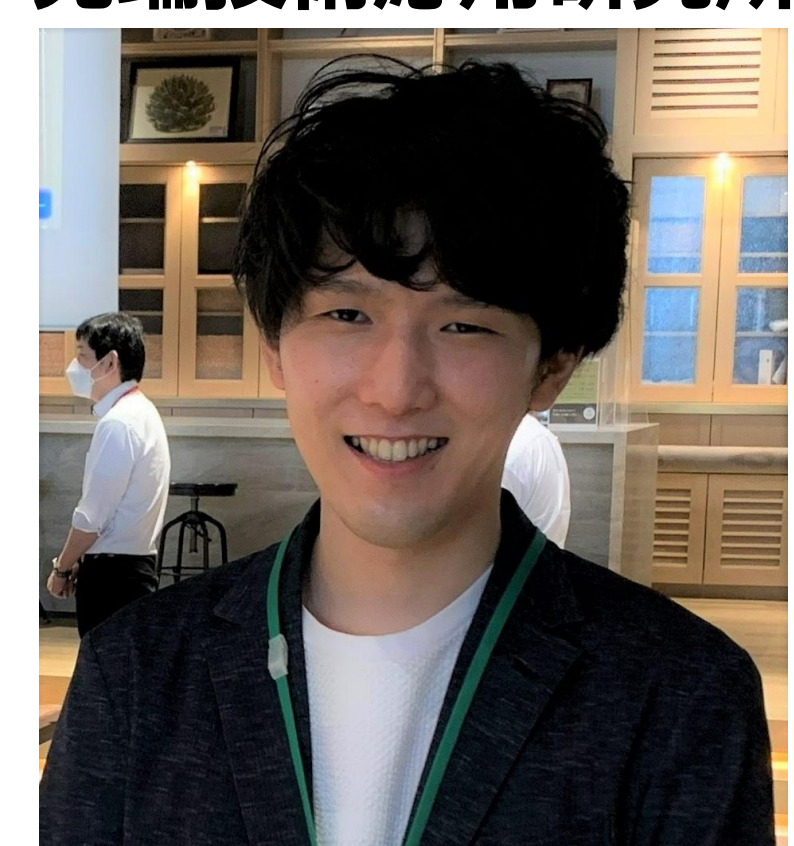
- 元画像の特徴的な形状等をもとに画像を生成
- 少量の元画像から画像を何倍にも！
- 実際に画像判別AIの精度向上を確認！



04 研究者より

- 生成AIの導入・活用によりこれまでの業務のやり方が次々と変わっていきます。今回紹介した取組みに限らず、様々な研究開発を進めて中部電力のAI活用・業務効率化を推し進めていきます。

中部電力（株）技術開発本部
先端技術応用研究所



情報技術グループ
追良瀬 主任